

一人っ子政策と最近の中国兵の特色

漢和防務評論 20170303 (抄訳)

阿部信行

(訳者コメント)

中国の一人っ子政策は廃止になりましたが、中国軍内でその弊害が深刻になっています。

漢和は、中国軍内の消息筋から得た情報から人民解放軍の兵士の現状を記事にしました。

記事を見ると、欠点だけを強調しているように見えます。この程度は、米軍も、自衛隊とも共通する点ではないでしょうか。むしろ農民出身兵は色に染まっていない分、伸び代があるのではないのでしょうか？他山の石ですね。

KDR バンコク特電：

ソフトパワーの研究は重要である。中国は 2016 年一人っ子政策を廃止した。しかし現在の中国軍の兵士及び大隊、連隊の首長である一級幹部は、多くが一人っ子である。しかも改革開放後の富裕な世代として生活し、実戦経験もなく、一旦戦争になったら、戦えるのだろうか？また空母遼寧にウイグル族の女性兵士が配置されていた。これが回族の兵士であるとする、中国軍は、実際に多くの少数民族を採用していることになる。

当時の旧ソ連軍と同様に、現在の中国軍内部では、少数民族兵士は言葉の壁に直面しているのではないかと。旧ソ連ではそれほど厳しくはなかった。しかし一人っ子が全軍で 70%を占めることから、KDR は次の通り評価している：中国軍は、大規模戦争には対応できないのではないかと。中国軍の消息筋によると：台湾と対峙する際、軍事大演習の際、部隊の配置替えの際、必ず一人っ子の母親が部隊を訪問し、一人っ子を連れ去る現象が起きる、と。

また軍内において、農村出身兵士は都市出身兵士に比べ、一般に教養水準が低い。一部の農村出身兵士は見識が低く、問題の認識と理解能力がない。また新たな事物に対する反応が鈍く、都市出身兵士に比べ劣っている。明らかに「田舎臭い」。したがって中国軍内部には、農村出身兵と都市出身兵には差別がある。この点は、欧米、日本の軍隊にはない。都市と農村の出身差別もない。

都市出身兵の多くは、一定の社会経験があり、問題の分析処理能力も高く、視野が広く、思考が活発で、自分の意見を積極的に発表し、教育指導に有利である。一方彼らは、単純に「中途半端な」考えを持っていて、ある者は社会の不良な影響を受けており、苦勞を厭い、享樂を追求しようとし、仮病を使って勤務をさぼろうとする。ある者は自己修養に欠け、感情が衝動的で、行為が並外れている。

中国軍消息筋は：少数民族の兵士は、兵士全体に占める比率を一定にしている。少数民族出身者も中国軍兵士の重要な構成員である。またある民族は自尊心が

強く、生活習慣の違いが大きく、教養水準が低く、言葉が通じず、問題認識能力が低い、との特徴があると述べた。

中国は、すでに高離婚率の時代に入っている。片親家庭の兵士の思想行為の特徴は：

一、性格が偏り、卑下する感情が強い。普段から情緒が沈みがちで、性格は孤立的、一般に他人との交際を望まず、問題に遭遇しても他人に助けを求めようとしない。また挫折したり物事がうまく運ばないとき孤独感に陥りやすい。

二、感情が脆弱で心で受け止める力が弱い。彼らは、臆病で、攻撃或いは外部の刺激に耐えられない。常に表情は憂鬱で、寡黙である。

三、考え方が閉鎖的で、情緒の起伏が激しい。彼らは単独行動を好み、他人との交流を望まない。

四、物事を処理するうえで疑い深く、自我意識が強い。他人に不誠実で、虚言癖がある。団結協同意識が弱い。

五、一人っ子兵士がすでに中国軍兵士の主力となっている。彼らは依頼心が強く、自己処理能力が低く、部隊での緊張した生活や厳格な規律に適応することがむづかしい。感情が豊かで、性格が敏感、心の浮き沈みが激しい。挫折を受け止める能力が弱い。心が脆弱で虚栄心が強く、批判されるのを嫌う。ある者は性格がひねくれ、わがままで、協調性がなく、目立ちたがる。

「関係兵」（註：コネで入隊した兵）とは、「後台」（註：縁故のある兵）或いは「来頭」（註：身分や経歴にいわくのある兵）の兵士を指す。「関係兵」は、教育する現場責任者が管理上困難を感じている。教育がむづかしい。「関係兵」は、後ろ盾を笠に来て、管理に服従しようとししない。

「90 後」（註：1990 年代に生まれた人）の兵士は反逆心が強く、性格がひねくれ、良い交際をせず、依頼心が強く、やみくもに上司のご機嫌取りをする。

「富二代」（註：豊かな家庭で育った）兵は、父母の経済が豊かで、家庭が物質的に極めて恵まれた兵士である。ある者は入隊時、万元単位の小使銭を持っている。「富二代」の兵士は、貧しい家庭出身の兵士を金銭を使って勤務を交代させ、洗濯など雑事もさせている。豊かな兵士は、義侠心を発揮し、多種多様な非正式グループを結成し、上下級戦友間の正常な問題処理に於いても、お金と物で” 交易 ” する傾向が現れている。

「経商兵」とはかつて地方で商売をした経験のある兵士を指す。小さな店主や社長の経験があり、家庭に恵まれ、経済的基礎が良好な兵士である。理想の追求はそれほど関心がなく、実利主義である。個人の利益に関心があり、自らの

任務と等価交換し、享樂を求める。思想は自由散漫で、仕事は楽な方を求め、兵役に専念できない等々。

「網恋兵」とはネット愛好家を指す。ある者は長年ネットのバーチャルな世界に耽溺し、常に理由を見つけて外出しネットの世界に耽る。ある者は無断外出し、夜になっても帰隊せず、ネットカフェに入り浸りになる兵士である。

「手機兵」とは携帯電話を熱愛する兵士を指す。中国軍は、現在、携帯電話使用状況資料及び登録簿を作成し、逐次審査し、外国公司、外資企業、国外の人員、「親しい友人」から送られた携帯電話を使用しないよう求めている。ネットに繋がる携帯電話を使わせないよう、大容量の電話が使えないよう、3G 携帯の使用を禁止するよう求めている。

中国軍は、秘密を扱う場所への携帯持ち込みを厳禁している。必要時には本体と電池を切り離す。通話中は、軍事関連の通話を禁止している。秘密文献、写真、録音、録画等の情報が漏れないよう、携帯を使って撮影、録音、録画ができないようにしている。携帯電話でネットを利用すること、ネット上で会話をすることを厳禁している。したがって携帯電話は単純な通話の道具に過ぎなくなっている。

以上